学校番号	327

令和８年度　理科（普通科）

教科	理科	科目	物理	単位数	4 単位	年次	3 年次
使用教科書	物理　（数研出版）						
副教材等	改訂版　リード Light ノート物理（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちの身の回りで起こる物理現象について、「力と運動」、「熱と気体」、「波」、「電気と磁気」、「原子」の５分野に分けて考えていきます。
授業で取り扱う現象は、日常的に身の回りで起きているものがたくさんありますので、身の回りの現象と結びつけて、身近に感じ、興味を持って取り組んで下さい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
基本的な原理・法則を理解し、適切に解答を導くことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
身近な出来事や課題に疑問をもって、もっと知りたいと感じ、それらに答えたいと疑問解決しようとする探究力を深める。
【学びに向かう力、人間性等】
仮説を立て、情報を収集し、課題、実験方法やまとめに至るまでの流れをまわりの生徒や先生と議論を重ね、様々な課題の解決につなげることができるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	身の回りの現象や法則について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、事象を物理的に解釈したり、表現、処理したりする技能を身につける。	物理現象を理解し、論理的に考察し表現する力を身につける。また、事象について学習した内容と結び付け課題解決できる力を身につける。さらに、それを適切に表現する力を身につける。	課題や事象に対して物理的な理解を示し、学習内容を活用し粘り強く考え、判断しようとする態度を身につけようとしている。 また、問題解決の過程を振り返って考察を深め、仲間と共有し学習内容を定着させる態度身につけようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	力と運動	1.平面内の運動と剛体のつりあい 2.運動量 3.円運動と単振動	a:物体の運動の表し方や法則について理解できている。各学習内容の規則性や関係性について理解できている。 b:学習した内容を関連付けて考察することができる。各学習内容の規則性や関係性を説明できる。 c:ノートや課題ﾌﾟﾘﾝﾄに取り組み、自分の考えをまとめ、表現することができる。	定期考査	定期考査 ト	提出ノート 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ
2学期	波	1.波の伝わり方 2.音 3.光	a:波の伝わり方、音、光における規則性や関係性について理解できている。 b: 学習した内容を日常の現象に関連付けて考察することができる。規則性や関係性を説明できる。 c: ノートや課題ﾌﾟﾘﾝﾄに取り組み、自分の考えをまとめ、表現することができる。	定期考査	定期考査	提出ノート 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ
	電気と磁気	1.電気と電流 2.電流と磁界	a:電気と電流、電流と磁界における規則性や関係性について理解できている。 b: 学習した内容を日常の現象に関連付けて考察することができる。規則性や関係性を説明できる。 c: ノートや課題ﾌﾟﾘﾝﾄに取り組み、自分の考えをまとめ、表現することができる。	定期考査	定期考査	提出ノート 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ

	熱力学	1.気体の法則 2.気体分子の運動 3.気体の状態変化	a:ミクロやマクロな視点での気体分子の考え方について理解できている。 b: 学習した内容を日常の現象に関連付けて考察することができる。規則性や関係性を説明できる。 c: ノートや課題ﾌﾟﾘﾝﾄに取り組み、自分の考えをまとめ、表現することができる。	定期考査	定期考査	提出ノート 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ

3学期	原子	1.電子と光 2.原子と原子核 3.物理学が築く未来	a:電子と光、原子と原子核における規則性や関係性について理解できている。物理学の成果が様々な科学技術の基盤となっていることについて理解できている。 b: 学習した内容を日常の現象に関連付けて考察することができる。規則性や関係性を説明できる。 c: ノートや課題ﾌﾟﾘﾝﾄに取り組み、自分の考えをまとめ、表現することができる。	定期考査	定期考査 ト	提出ノート 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度